

[tenpla]

天プラ活動報告 2006～2007

塚田 健（東京学芸大学大学院）

www.tenpla.net



天プラ活動報告2006～2007

- 「サイエンスグッズ WS」 (2006.11)
- 宇宙図の作成 (2006.11～2007.4)
- 「神沢利子展」への協力 (2007.2～3)
- Astrocafe(?) 「スペースみたか」 (2007.3)
- サイエンス “クラブ” (2007.7)
- アストロクラブ@三鷹四小 (毎月1回)



Template

科学館

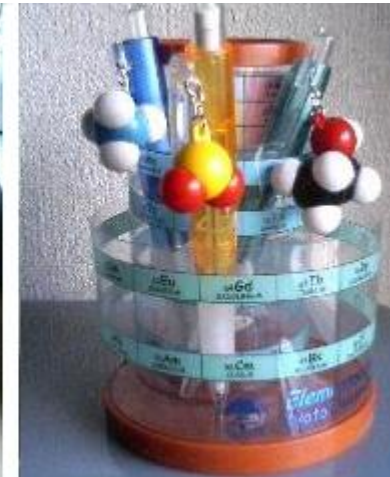
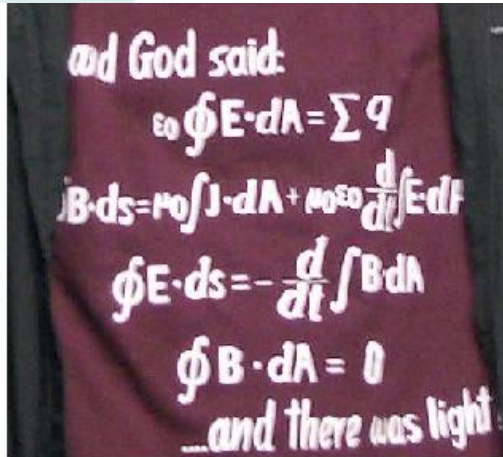
サイエンスグッズ・ワークショップ

@サイエンス・アゴラ2006



開催のきっかけ

- 街中には“科学”の香りがするグッズがちらほら。



開催のきっかけ

- 天プラでもサイエンスグッズの作成を手がけてきた。



開催のきっかけ

しかし……

サイエンスグッズは、科学を伝える、あるいは楽しむためのツールとしては真剣に認識されてこなかったのではないか？

サイエンスグッズを自分たちで企画しながら、サイエンスグッズのもつ可能性をさぐりたい！



同じ思いを持った国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成講座受講生有志の皆さんとワークショップの開催へ。



当日の様子



はじめに、事務局から基調講演“サイエンスグッズとはなんぞや？”

当日の様子



右から
岩村剛さん
（バンダイ）
上田壮一さん
（Think the Earth）
山下治子さん
（「ミュゼ」編集長）



グッズ界(?)で著名な皆さまに審査員として来ていただきました。

当日の様子

[tempia]



各グループ、くじ引きで各々“しぼり”が決まります。



当日の様子



議論白熱中！



[tempia]

当日の様子

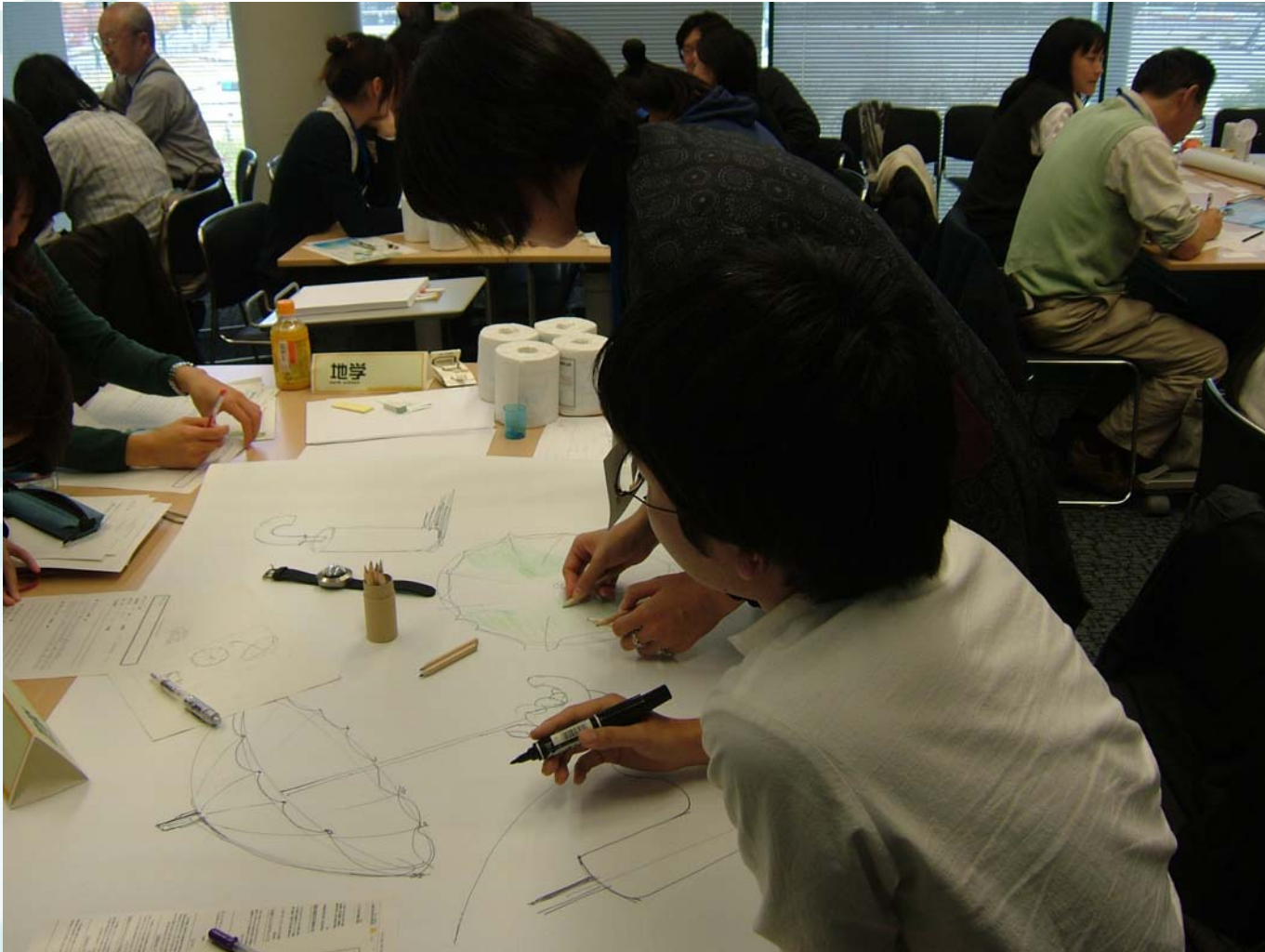


議論白熱中！



[tempia]

当日の様子



アイデアがどんどん形になっていっています。



当日の様子



参加者以外にも多くの方に見に来ていただきました。



当日の様子



最後には各グループ、考案したグッズを発表。



当日の様子



参加者同士で投票し合い、最後には表彰式。審査員特別賞も。

考案されたサイエンスグッズ

- キンキラキン☆ [生物A]
- シークレットシード [生物B]
- どっち？スケール [物理]
- みそーらーカップ [宇宙A]
- ダークマターケーキ [宇宙B]
- きみも気象予報士 [地学]



宇宙図の見方

宇宙図の見方

宇宙図の見方

宇宙図の見方

宇宙図の作成

宇宙図の作成

宇宙図の作成

宇宙図の作成

太陽系天体に生命を求めて

太陽系天体に生命を求めて

太陽系天体に生命を求めて

もうひとつの地球を探して

もうひとつの地球を探して

もうひとつの地球を探して

宇宙はどのように生まれたのか?

私たちが住んでいる地球と宇宙。この両者の間の宇宙は、かつては同じものであった。地球の科学は、私たちが住んでいる地球と宇宙の間に、宇宙図の作成が不可欠な役割を果たしています。地球図の作成は、地球の歴史を明らかにし、地球の未来を予測するために不可欠なツールです。

人間の材料はどこから来たのか?

私たちが人間であること、それは「原子」を宇宙と共有した結果です。宇宙の材料は、私たちが人間であること、それは「原子」を宇宙と共有した結果です。宇宙の材料は、私たちが人間であること、それは「原子」を宇宙と共有した結果です。

さまざまな元素から、生命が生まれた

生命を生み出すステージが整う

生命を生み出すステージが整う



宇宙図の作成

@ 科学技術週間

制作の経緯

● 科学技術週間



● 『一家に一枚』シリーズ

基本コンセプト

- 大人から子供まで部分的にでも興味を持たせるもの
- 見た目がきれいで、部屋に貼っておきたくなるもの
- 基礎的・普遍的な科学知識を中心とするもの
- 身近な物や事象との関連付けをして、親しみをもてるもの

● 周期表 (2005年)

● ゲノムマップ (2006年)

● そして2007年、第3弾...

「発明の日」(4/18)を含む一週間
科学技術について広く一般の人々の
理解と関心を深め、日本の科学技術
の振興を図るために制定

7ヶ月の闘い

「物質と生命の起源と宇宙との関わりを描きたい」

- 2006年9月、文部科学省 科学技術・学術政策局に趣旨提案
— 2ヶ月間の基本コンセプト検討を経て、GO SIGN
- 11月、「一家に一枚 宇宙図」制作委員会 始動
— 9月25日から3月9日(印刷所入稿)まで2,200通を超える
メールを費やしてディスカッションを続け...
- 2007年3月27日、文部科学省にて記者発表
- 4月、科学技術週間に全国配布

宇宙図に結集したヒトビト

監修：文部科学省、(社)日本天文学会 天文教材委員会

著作・販売：(財)科学技術広報財団

企画：自然科学研究機構 国立天文台
天文学とプラネタリウム

制作：「一家に1枚 宇宙図 2007」制作委員会

縣秀彦, 小阪淳, 高梨直紘, 平松正顕, 川越至桜, 成田憲保,
内藤誠一郎, 日下部展彦, 高田裕行, 石川直美, 杉山直,
市来淨與, 山岡均

アートディレクション：小阪淳

コピーディレクション：片桐暁

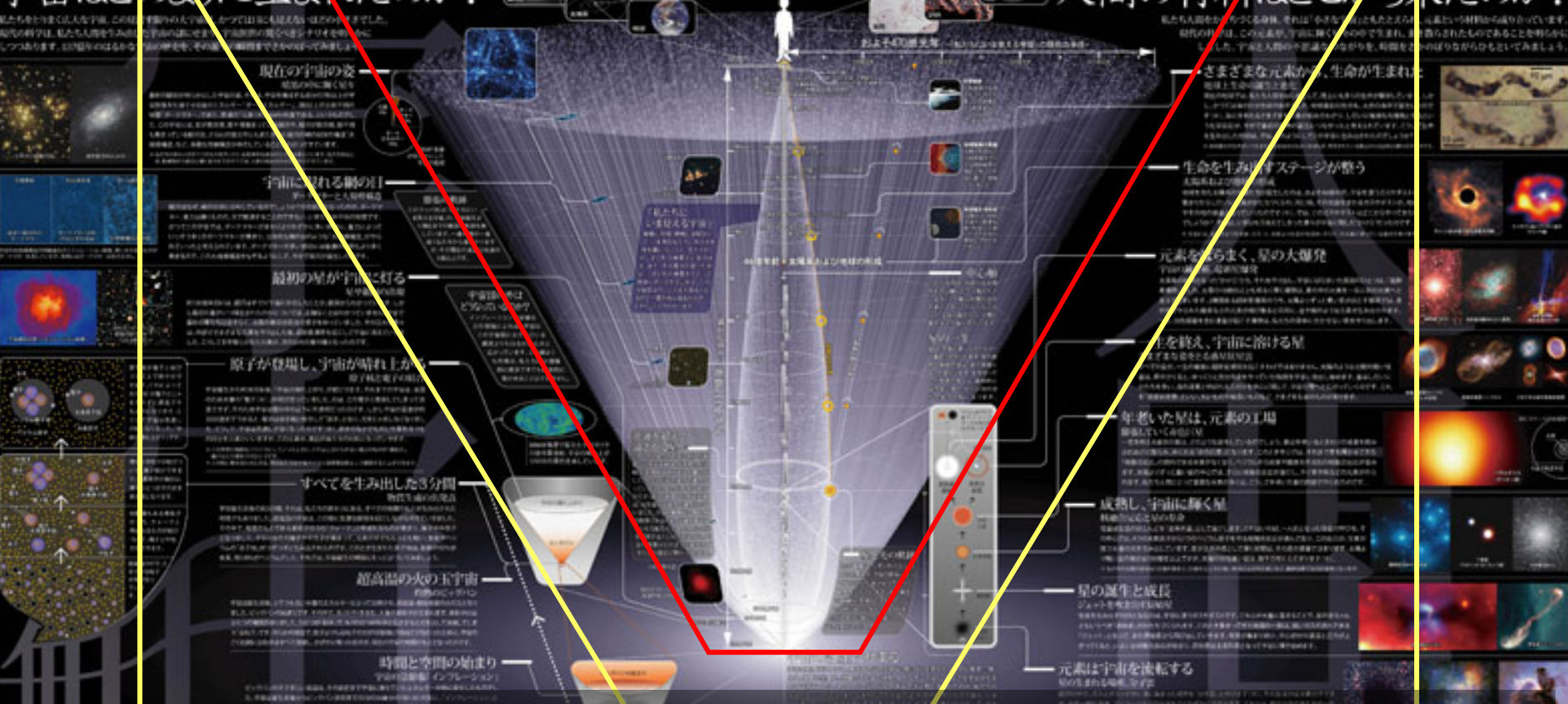
協力：観山正見, 佐藤勝彦, 青木和光, 三浦均, 額谷宙彦, 杵島正洋, 石崎昌春 他

2つのコンセプト

宇宙の時間軸と広がりを一枚の絵に

宇宙はどのように生まれたのか？

人間の材料はどこから来たのか？



物質と生命の起源と宇宙との関わり

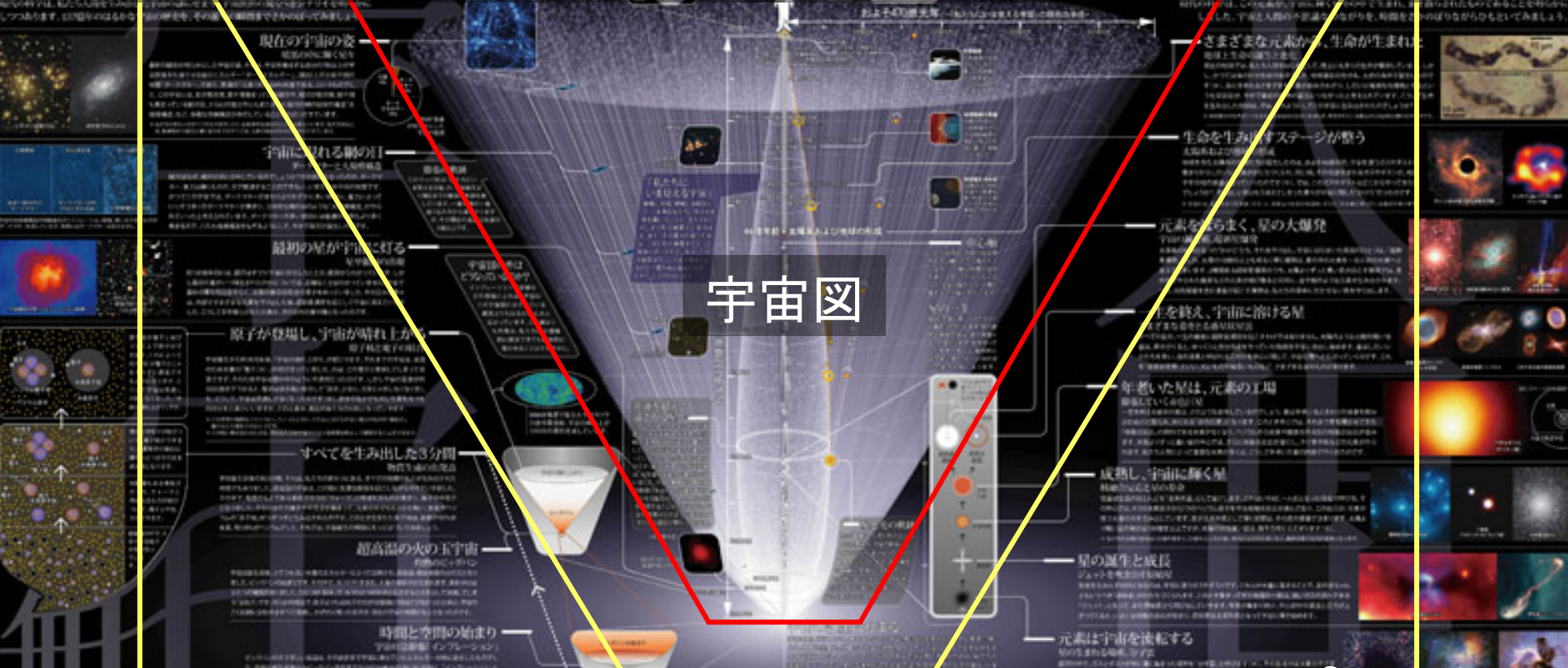
宇宙図の見方

宇宙図は、宇宙の歴史を時空の軸に沿って描き出した図である。縦軸は時間、横軸は空間の広がりを示している。宇宙の始まりから現在までの進化を、星の誕生と死、銀河の形成と進化、そして生命の出現までを追跡できる。この図は、宇宙の膨張と冷却の過程を視覚的に表現しており、私たちの存在に至るまでの長い旅路を物語っている。

地球外生命を探して

太陽系天体に生命を求めて、もうひとつの地球を探して。地球外生命の存在を証明することは、人類にとって最大の謎の一つを解くことになる。NASAの火星探査機や、木星の衛星エウロパに探査機を送る計画など、地球外生命の探査は現在進行形で進められている。生命の存在は、宇宙の広大さや人間の存在意義を問いかける重要な問いである。

宇宙はどのように生まれたのか? 人間の材料はどこから来たのか?



2つのストーリー

5つのパート

宇宙図の今後

- 完成と同時にwebを公開
 - 宇宙図の見方などをフラッシュで解説しています。
- 5月末には英語版も完成
- 8月末(予定)には解説本が出版予定

[tempa]

「どうして？ 神沢利子展
～ウーフからの招待状」
@東京都三鷹市



神沢利子展とは？

- みたか・子どもと絵本プロジェクトの一環

地域にゆかりのある絵本作家などの紹介などによって、あらゆる世代の人たちが絵本の楽しさやよろこびに出会う機会を提供し、絵本文化のおもしろさを伝えることをめざす。

その第一ステップとして、三鷹市にゆかりのある神沢利子さんの作品とその世界観を紹介する展覧会を開催することに。



TOSHIKO KANZAWA PROJECT

©YOSUKE INOUE ©SEIICHI HORIUCHI

天プラからは・・・

神沢さんの作品には星、とくに北斗七星が多く登場すること、北斗七星が見られるようなプラネタリウム風の読み聞かせ小屋を造ってほしいという依頼。

そこで、小屋の作成協力、会期中に読み聞かせ小屋にて星の話、およびワークショップの開催協力などを行った。



読み聞かせ小屋の製作

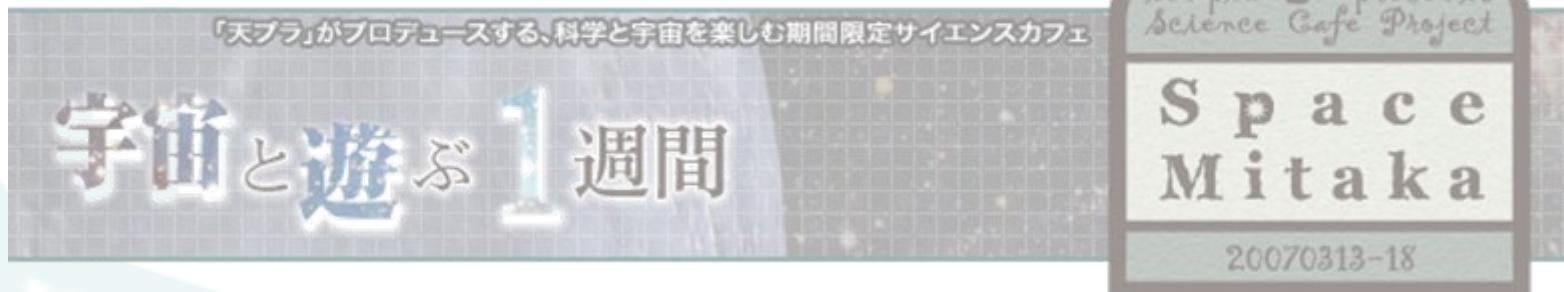
- 設計は天プラで担当。実際の製作は天プラメンバー及び、展覧会の実行委員、中学生ボランティアで行った。



[tenpla]

天
鷹
市

Space Mitaka



@東京都三鷹市



宇宙と遊ぶ一週間

- “宇宙と遊ぶ一週間”と称して期間限定でサイエンスカフェイベントを開催。
- 場所は三鷹駅前のフリースペース「スペースみたか101」。
- 喫茶メニューは隣接するコーヒーショップに協力していただいた。天プラからも惑星クッキーなどを提供。



宇宙と遊ぶ一週間

- イベントを開催していない時間はカフェスペースとして解放。
- 天プラで考案したグッズも販売。

